

付録 4

なぜコーランはアラビア語で下されたのか？

第 41 章 44 節から、真摯な信者であれば母国語に関わらずコーランに接することができるということを学ぶ。一方で、不信仰者は、たとえアラビア語の教授であったとしても、コーランへのアクセスを許されない (17:45, 18:57, 41:44, & 56:79)。

アラビア語は、特に法律の正確な記述において、世界で最も効率的な言語です。コーランは「法典 (規則の書)」であるため、それらの法律が明確に述べられることが極めて重要であった。神が完結の啓典にアラビア語を選ばれたのは、それがその目的に最も適した言語であるという明白な理由からである。アラビア語はその効率性と正確さにおいて独特である。例えば、英語の「they」という言葉は、それが男性か女性かを教えてくれない。アラビア語には、男性の彼ら「HUM (フム)」と、女性の彼女ら「HUNNA (フンナ)」がある。さらに、2 人の男性の彼ら「HUMAA (フマー)」、2 人の女性の彼女ら「HAATAAN (ハーターン)」という言葉さえある。この特徴は世界の他のどの言語にも存在しない。私は例えば第 2 章 228 節を翻訳した際、このアラビア語の効率性を実感しました。この節は、離婚しようとしている女性がもし妊娠していることに気づき、夫が和解を望むなら、子供の福祉を優先して自分の離婚の意志を放棄するよう命じている。アラビア語の効率性は、この法律を記述する上で非常に役立った。他の言語であれば、誰の意志が優先されるべきかを、2 章 228 節に見られるようなこれほど少ない言葉で指摘することはほぼ不可能だっただろう。

例えば、第 28 章 23 節の「Qaalataa (カーラター)」という一語は、英語では「the two women said (その二人の女性は言った)」という 4 語に翻訳される。これこそがアラビア語の効率性である。

アラビア語が選ばれたもう一つの考えられる理由は、「彼 (He)」や「彼女 (She)」が必ずしも自然な性別を意味しないという事実である。したがって、神が「彼」と言及されるとき、それは性別を全く意味しない。神に栄光あれ。神は男性でも女性でもない。例えば英語で神を指す際に「He」を使うことは、神についての誤ったイメージを助長してきた。神を「父 (Father)」と呼ぶような歪んだ表現も、その助けにはならなかった。コーランの中に、神をそのように呼ぶ箇所は一つもない。